



【臨時レポート】

銀行セクターを巡る市場動向について

米国中堅銀行ファースト・リパブリック・バンク(以下、「FRC」)の経営破綻およびJPモルガン・チェース銀行によるFRCの買収を受け、銀行セクターに対する懸念が再燃しています。2023年3月のシリコンバレー銀行やクレディスイスを巡る混乱の直後であるため、市場では世界的に不透明感が高まっています。一連の出来事がどのような意味を持つのか、アライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」)*の見解をご案内申し上げます。

当局による迅速な処理

2023年5月1日、米国連邦預金保険公社(FDIC)はFRCを公的管理下に置き、資産をJPモルガン・チェース銀行に売却すると発表しました。JPモルガン・チェース銀行はFRCの大半の資産を取得し、預金保護対象外のものを含め、全預金を引き継ぎます。

これまでのところ、市場では広範な金融危機のリスクを示す動きは見られず、懸念の対象は一部の中小銀行にとどまっている模様です。ABでは、引き続き預金フロー、米国連邦準備制度の信用供与ファシリティの利用状況、銀行貸出動向、クレジット・スプレッド、社債の新規発行状況など、幅広い指標に目を配りながら事態の推移を注視しています。

市場見通しと投資スタンス

ABの株式および債券のアクティブ運用戦略では、FRCの株式・債券等は保有していません。マルチアセット運用戦略では、ごくわずかなポジションを持つものがひとつありますが、例外的なものです。

ABの各運用チームは、あらゆる資産クラスにおいて投資対象のクオリティを重視しており、2023年3月の銀行取り付け騒ぎを経て、このスタンスはいっそう強化されました。長年の低金利環境下では成功していたり、問題が表面化していなかったビジネスモデルや企業が、昨年来の大幅な金利上昇によって大きなリスクにさらされるとの認識が背景にあります。

株式運用戦略では、銀行セクターへのエクスポージャーは、バリュー株投資を含むほとんどの戦略でベンチマーク並みかアンダーウェイトとなっています。また、金融セクターの中でも、システミックなストレスにさらされる可能性がより低い銘柄を厳選しています。これには、証券取引所、資産運用会社、地域や事業の分散度が高い大手銀行などが含まれます。中小型株戦略の中には、地方銀行銘柄を保有しているものもありますが、その場合でも、健全なバランスシートと強固な収益力を有する高クオリティ銘柄を重視しています。

債券運用戦略では、引き続き銀行セクターには魅力的な投資機会が豊富にあると判断しています。特に、2008年の世界金融危機後の規制強化や定期的なストレステストの義務化を受けて健全性が高まった各国の大手銀行は、不良債権や証券投資による損失を吸収する能力や、基本的な収益力といった観点から力強いポジションにあります。多くの大手銀行は、高水準の自己資本比率を維持しており、不良債権比率も過去最低水準近くにあるほか、預金面でも分散度が高いことから預金流出リスクは小さいと見ています。

こうした指標は、今後の景気減速によって現在の水準からやや弱まる可能性があるものの、広範な信用格付けの引き下げにつながるほどではないと予想しています。また、局所的な危機の兆候が表れた場合にも、迅速性、規模、多面的な連携など、各国当局の危機拡大を防ぐ能力は大きく進化していると考えています。

以上

*アライアンス・バーンスタイン及びABはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。

当資料のお取扱いにおけるご注意

当資料は2023年5月2日現在の情報を基にABが作成したものをアライアンス・バーンスタイン株式会社が翻訳した資料であり、いかなる場合も当資料に記載されている情報は、投資助言としてみなされません。当資料は信用できると判断される情報をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、当資料に掲載されている予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

当資料についての重要情報

当資料は、投資判断のご参考となる情報提供を目的としており勧誘を目的としたものではありません。特定の投資信託の取得をご希望の場合には、販売会社において投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず詳細をご確認のうえ、投資に関する最終決定はご自身で判断なさるようお願いいたします。以下の内容は、投資信託をお申込みされる際に、投資家の皆様に、ご確認いただきたい事項としてお知らせするものです。

- 投資信託のリスクについて
アライアンス・バーンスタイン株式会社の設定・運用する投資信託は、株式・債券等の値動きのある金融商品等に投資します(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、全て投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。リスクの要因については、各投資信託が投資する金融商品等により異なりますので、お申込みにあたっては、各投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をご覧ください。
- お客様にご負担いただく費用: 投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります
 - 申込時に直接ご負担いただく費用…申込手数料 上限3.3%(税抜3.0%)です。
 - 換金時に直接ご負担いただく費用…信託財産留保金 上限0.5%です。
 - 保有期間に間接的にご負担いただく費用…信託報酬 上限2.068%(税抜1.880%)です。

その他費用…上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アライアンス・バーンスタイン株式会社が運用する全ての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

ご注意

アライアンス・バーンスタイン株式会社の運用戦略や商品は、値動きのある金融商品等を投資対象として運用を行いますので、運用ポートフォリオの運用実績は、組入れられた金融商品等の値動きの変化による影響を受けます。また、金融商品取引業者等と取引を行うため、その業務または財産の状況の変化による影響も受けます。デリバティブ取引を行う場合は、これらの影響により保証金を超過する損失が発生する可能性があります。資産の価値の減少を含むリスクはお客様に帰属します。したがって、元金及び利回りのいずれも保証されているものではありません。運用戦略や商品によって投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。また、ご投資に伴う運用報酬や保有期間中に間接的にご負担いただく費用、その他費用等及びその合計額も異なりますので、その金額をあらかじめ表示することができません。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会